


トピックス topics

第23号
H22. 8

京	農	業	会	議
都	だ	よ	り	
発行 京都府農業会議 〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 京都府庁西別館内 Tel:075(441)3660 e-mail:k_noukai@agr-k.or.jp				

- p 1 ◆京都府農地相談センターを開設!
- p 2 ◆農地相談センターの主な業務
◆支援員を紹介します①
◆田舎ぐらしナビゲーター交流会
- p 3 ◆みんなで進めよう耕作放棄地対策
◆府内の集落営農(20組織)を巡回
◆「農の雇用」研修生“84名”に
- p 4 ◆会議員の異動、常任会議だより ほか

京都府農地相談センターを開設!

農業委員会と一緒に汗をかき「支援員」を4ブロックに配備

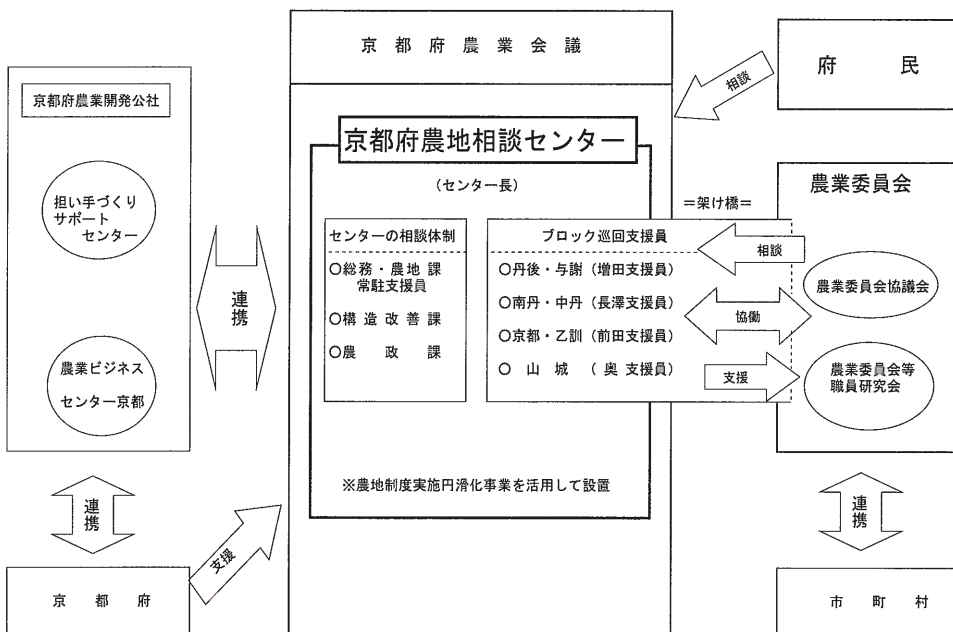
京都府農業会議は、府民からの農地利用に係る相談に対応するとともに、改正農地法で増大した農業委員会の業務を支援するため、6月1日に「京都府農地相談センター」を開設しました。

同センターの特徴は、府内4ブロック(丹後・与謝、南丹・中丹、京都・乙訓、山城)ごとに、「支援員」を配備したことです。支援員は、いずれも市町村・農業委員会OBの経験豊かな方々であり、農業委員会を巡回しながら、法令事務への対応をはじめ、現場の農地の有効利用、遊休農地の解消、違反転用の是正などに係る情報を収集し、委員会への支援を行っていきます。

また、センターでは、府民からの農地利用相談に対応しながら、農地制度実施円滑化事業など農業委員会の業務推進を支援していきます。

センターの体制と業務内容については、下の図と2頁をご覧ください。

京都府農地相談センターの体制



農地相談センターの主な業務

農地相談センターは、次の業務を行っています。どんなことでも構いませんので、支援員さんに御相談ください。

① 府民等の農地利用に係る相談対応

- 農地を買う(借りる)場合、売る(貸す)場合、転用する場合の法律手続き
- 府民・一般企業等の農地利用、相続農地の届出
- 農地税制、農業者年金制度、市民農園・体験農園制度、生産緑地制度

② 農業委員会等の農地関係業務に係る相談対応

- 農地法等の法令事務の適正実施、農地制度実施円滑化事業の手続き
- 農地パトロール(利用状況調査)、農地基本台帳の整備

③ 農地の保全と有効利用、遊休農地の発生防止等に係る現地支援

- 遊休農地の発生防止・解消、農地の面的集積と有効利用、違反転用の是正
- 担い手活用農地バンクと連携した広域的な利用調整

④ 新たな農地制度の周知・啓発、農業委員・事務局職員の研修など

- 新たな農地制度の周知・啓発、農地問題の調査・研究等
- 農業委員・事務局職員の研修、実務マニュアルの作成

＊ ＊ ＊

支援員を紹介します①



前田 和也 さん
(駐在支援員、
京都・乙訓担当)

常勤の駐在支援員として、農地法等に関して府内全域からの相談対応を行うとともに、京都乙訓地域担当として農業委員会の巡回支援をさせていたいただくことになりました。

相談活動については、分厚い法令通知集と格闘しているところではありませんが、顧客満足度の向上が問われた法律事務所等での勤務経験を活かし、正確であるとともに、相手方の状況に合った親身な対応を心がけたいと思っています。

農業委員会の巡回支援については、各支援員との情報交換を密接に行い、各委員会の法改正に伴う課題解決の取り組みを少しでも横に広げていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

田舎ぐらしナビゲーター交流会

京の田舎ぐらし・ふるさとセンター(府農業会議内)は、8月に府内4会場で「京の田舎ぐらしナビゲーター」(京都府知事が認定した28名)を対象に交流会を開き、「ふるさとセンター」と「ナビゲーター」との連携強化の課題について意見交換しました。

各会場では、ナビゲーターのほか、地元の移住経験者や、市町村、府関係機関の担当者が出席し、「空き家の確保」や「農村移住の促進」などについて話し合いました。

丹後会場…8月6日(金)

府峰山総合庁舎(左の写真)

南丹会場…8月10日(水) 府亀岡総合庁舎

山城会場…8月11日(木) 府木津総合庁舎

中丹会場…8月18日(水) 府綾部総合庁舎



みんなが進めよう耕作放棄地対策 — まず解消モデルづくりを —

農業委員会による農地パトロール（利用状況調査）と所有者への意向確認・指導が、いよいよ始まります。

農業会議では、7月29日から8月20日にかけて、府内6ブロックで市町村・農業委員会・府関係機関の担当者と協議。利用状況調査に先駆けて、平成20年度全体調査で判明している耕作放棄地について、解消可能な緑・黄区分の1割を再生利用し、1市町村1つ以上の解消モデルづくりを進めていく方向を確認しました。

今後、各市町村では、耕作放棄地対策協議会や農業委員会などが現地調査を行い、荒廃の程度や受け手の状況・導入予定作物などを検討して、モデルづくりの候補地区を選定。国の補助事業（耕作放棄地再生利用交付金）も活用しながら、農地の有効利用対策を進めていくことになります。



京丹後市内での現地調査状況

府内の集落営農（20組織）を巡回

— 農地利用の団地化が課題 —

集落営農組織の経営力アップや法人化を進めるため、農業会議は、京都府、JA京都中央会とともに、府内20組織を巡回しています。

各組織のリーダーとの話し合いでは、「集落の転作を担ってきたが、水稲も作れない組合員がでてきた。どのタイミングで集落一農場方式に移行すればよいか」「組合員の水稲を共同で作付けしているが、全戸参加ではないので田が分散して効率が悪い。集落の全戸に参加を呼びかける時期にきているが、何をきっかけにすればいいか」などの課題が出されました。地域・集落で団地的な農地利用をすすめることが共通の課題として浮き彫りになってきています。

今後、京都府担い手育成総合支援協議会では、巡回した組織に専門家を派遣するなど、積極的な支援に取り組んでいく予定です。



「農の雇用」研修生 84名に

農業での雇用を促進し、事業者が研修生（被用者）に対して行う実践的な技術・経営研修を支援するための「農の雇用対策事業」が昨年度からスタート。21年度の3回の募集（平成21年4月、同8月、22年1月から12か月間研修）で、すでに府内34経営体で67名が研修を行っています。さらに22年8月から府内15経営体で17名が研修を開始します。

農業会議は、全国農業会議所から委託を受けて、応募書類の審査、4か月毎の研修実施状況の現地確認、助成金申請書類の点検審査を行い、適切な事業実施を推進しています。

会議員の異動

- 〈1号会議員〉
再任 宇野 明忠 (7月1日)
- 〈6号会議員〉
新任 細見 泰敏 (4月26日)
- 退任 永井 菊博 (4月8日)

常任会議だより

農地法等諮問案件の審議のほか、次の課題を協議しました。

第342回常任会議 (4月28日)

報告

- ①農地制度改正に伴う相続税納税猶予制度の改正について

第343回常任会議 (5月26日)

報告

- ①農業会議の農地制度実施円滑化事業への対応について
- ②水田農業、戸別所得補償政策をめぐる状況について

第344回常任会議 (6月24日)

①協議

「土地と農業を守り、農地の有効利用を進める運動」の推進について

報告

- ①平成22年度京都府6月補正予算案の概要について
- ②「農用地等の確保等に関する基本指針(農水省)」について
- ③平成23年度京都府農林施策への

協議

第345回常任会議 (7月28日)

- ①第102回総会への提出議案と運営について
- ②平成23年度京都府農林施策への提案について(骨子)

報告

- ①中山間地域等直接支払制度(第3期対策)の推進について
- ②京都府における有害鳥獣対策の状況について

【農地法諮問案件の審議件数】

(4~7月)

第4条34件	21,870.45㎡
第5条70件	68,964.69㎡
計 104件	90,835.14㎡

【会議員現地調査】6件
4月9日(城陽市)、4月14日(京都市)、5月13日(京丹後市)、6月10日(京丹後市)、7月15日(京丹波町)、8月12日(亀岡市)

会議・研修会等の開催

【農業委員会関係】

- 農地制度実施円滑化事業説明会 (5月27日)
- 農業委員会職員担当者研修 (5月27日)
- 農地等情報総合管理システム利用講習会 (5月28日)

- 農業委員会担当者会議 (6月14日)
- 農業委員会会長等会議 (6月18日)
- 女性農業委員研修交流会 (6月25日)
- 農業者年金業務担当者会議 (7月1日)
- 南丹・中丹ブロック農業委員会事務局長担当者会議 (7月27日)
- 女性農業委員研修交流会 (8月19日)

【担い手協議会関係】

- 京都府担い手育成総合支援協議会総会 (3月26日、7月23日)
- 農の雇用事業に係る説明会 (6月9日)
- 担い手育成総合支援協議会会長・事務局長会議 (7月6日)
- 集落営農会計セミナー (7月14日)
- 耕作放棄地対策担当者会議 (中丹) 7月29日、南丹) 7月30日、丹後) 8月2日、山城) 8月18日、山城北) 8月19日、京都乙訓) 8月20日)

【田舎ぐらし関係】

- 京の田舎ぐらし・ふるさとづくり推進委員会 (6月2日)
- ナビゲーター交流会 (丹後) 8月6日、南丹) 8月10日、山城) 8月11日、中丹) 8月18日)

出版案内

- 【農業会議の出版物】
- 『農業会議だより』

▼ No. 773

農地と担い手を守り活かす視点で改正農地法にのぞむ(府北部編)

▼ No. 774

農地と担い手を守り活かす視点で改正農地法にのぞむ(府南部編)

『あぐりるねっさんず』

▼ No. 81 (2010年夏号)

【おすすめ図書】

- 『平成22年度版 農家相談の手引き』
- 農地の相談、農業経営の相談全般に対応した農業委員必携の一冊です。
- コード22-22 800円



※お問い合わせは農業委員会事務局又は農業会議まで

今後のスケジュール(予定)

- ▼第346回常任会議 (8/25)
- ▼第102回総会 (8/25)
- ▼第347回常任会議 (9/29)